

第12回勝山市生活交通地域協議会 会議録要旨（平成30年度 第1回）

1.開催日時：平成30年6月4日（月）15時～15時30分

2.開催場所：勝山市役所 3階 第2・3会議室

3.出席委員：敬称略

委員	福井大学大学院 特命教授	川上 洋司（座長）
	国土交通省中部運輸局福井運輸支局	山本 一途
	運輸企画専門官（輸送・監査担当）	
	福井県総合政策部 企画幹	龍田 光幸 （代理 中屋 貴大）
	奥越土木事務所 勝山維持管理課長	鈴木 常仁
	勝山警察署 交通課長	吉田 真人
	勝山市区長連合会 会長	杉平 信夫
	勝山市高齢者連合会 代表	松下 文男
	えちぜん鉄道株式会社 営業開発部 部長	佐々木 大二郎 （代理 吉田 周平）
	勝山交通株式会社 代表取締役社長	竹田 幸弘
	大福交通有限会社 代表取締役	中村 雅彦
	勝山市副市長	松村 誠一（会長）
	勝山市教育部長	平沢 浩一郎
	勝山市建設部長	酒井 与志弘
	勝山市商工観光部長	水上 実喜夫 （代理 北川 昭彦）
	勝山市健康福祉部長	松井 隆治
	勝山市市民生活部長	伊藤 寿康
事務局	勝山市市民生活部市民・環境課課長	河野 誠
	主任	森 弘章
	主査	石田 剛士

4.欠席委員：国土交通省中部運輸局福井運輸支局首席運輸企画専門官（輸送・監査担当）畑憲治
京福バス株式会社 経営推進室企画営業グループ 部長 矢部 良智
福井県交通運輸産業労働組合協議会 森 司

5.傍聴人の数：0人

6.報告事項

- (1) 平成 29 年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の二次評価結果について

7.議題

- (1) 平成 31 年度生活交通確保維持改善計画のローリング

8.会議資料

資料 1 平成 29 年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）二次評価結果

資料 2 平成 31 年度生活交通確保維持改善計画

9.議事等内容

- (1) 平成 29 年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の二次評価結果について

- (2) 平成 31 年度生活交通確保維持改善計画のローリング

座長 幹線（京福バス勝山大野線）の利用者数が補助対象すれすれとなっている。何か対策が必要。奥越明成高校の生徒の状況はどうか。

委員 今年の 4 月からサンプラザ前を通過するバスに乗り込んでいる生徒が非常に少ない。

北谷線で福井勝山総合病院へ行こうとしたが満車で乗れなかったという話を聞いた。車両の前面に「満車」と掲載してはどうか。

会長 北谷線はワゴン車のため一杯だったのでは。

幹線の対策として、新 1 年生が入学したときに交通手段を調査してみてもどうか。

奥越明成高校の通学定期券補助は継続しているのか。

委員 継続している。記憶が定かではないが、前年度より補助件数が多かった気がする。

委員 学期の変わり目に調査を実施してはどうか。子どもの通学は、親による自動車の送迎が多い気がする。高校や PTA と連携し、バスの利用促進を進めてほしい。冬に入る前がポイントになってくる。幹線が無くなると非常に困る。

病院専用時刻表の作成はぜひ進めてほしい。

他の路線を弄ると、フィーダー路線の利用者も変わる。

勝山市の公共交通は、えちぜん鉄道も含めて、生活支援型と観光利用の 2 面性があり、私が知る限り珍しい運行体系をしている。勝山市の地域性と、生活と観光の両方を兼ね揃えたサービスの向上、交通事業者からの提案などにより、よりよい公共交通網の整備を進めてほしい。

一同 承認